



町の活性化を願って

わが町の文化財を見直そう

津 奈 木

前代塚

発行所
津 奈 木 公 民 館
津 奈 木 郡 津 奈 木 町
電話 (78) 3111 (代)
印刷所 旭 印 刷
電話 (水尻) 634101番

はじめに

各地でふるさと創生が叫ばれ、「自ら考え、自ら実践する地域づくり」をテーマとして取り組んでいるが、この機会にわがふるさとを見直してみたい。

本町には多くの文化財があるが、我々は先づ足元の文化をよく知り、それに関心を持ち貴重な文化遺産を保護するだけでなく、これを如何に活用するかを考えて町の活性化につなげていきたいものである。文化財は我々の誇りであり、地域住民の共通財産である。文化財に対する考え方を保護から活用に転換して行かね

北の玄関口

千代塚

我が町の文化財にはどんなものがあるのか。個々にわたっての詳細は館報各号のシリーズの中で見ていただくことにして、ここでは全体把握のためその主なものを記すことにする。

●県指定文化財として
(1)重盤岩眼鏡橋 (2)久子的小みかん原木
(3)將軍神社のヤマモモ (赤崎)
(4)紅みかん (大泊) (5)新村眼鏡橋 (古川)

町文化財の実態

文化財とは「人間の文化活動の客観的所在としての事象、事物で文化的価値をもつもの」を云う。我が国の文化財の保護、活用については文化財保護法(昭二五年制定)に基づいて文化財保護委員会が当っている。文化財保護法では文化財を四つに分類している。

(1)有形文化財：建造物や美術工芸品など正統的な文化財
(2)無形文化財：演劇、音楽、工芸技術など無形の文化的所産
(3)民族資料：一般的生活様式、風俗習慣及びその用具などで最も基盤的な文化財
(4)記念物：歴史的なものと自然的なものがあり、史跡、名所、天然記念物に分けられる

活用への一考察

本町文化財の現状を見てみると整備不十分なところがあるので、名称の標示柱や説明板を設置したり役場庁舎付近に町内の名所史跡、文化財の所在地を記入した案内板を掲示し、来訪者の便に供する措置が必要かと考える。

上掲写真の千代塚は大変きれいに美化されているが、今少し公園化が必要と思う。北の玄関口として近年来訪者が多く、最少限東屋、トイレ、水道等の設備が必要である。これは一例であるが、他の箇所についても整備充実を図っていく必要がある。

歴史的遺産として受け継いだ文化遺産は今後我々の社会に益々大きな意味を持つようになるだろう。万人に愛されて初めて文化遺産は現代に甦ってくる。これに新しい価値を付加して次の世代に継承して行かねばならないのである。

一言

草深い東北の小さな駅のほほえましい話である。それは、この駅の一隅にいつの頃からか詩を書いた紙が掲示されるようになった。当時の駅長さんは、この場所を「詩の壁」と名づけた。その後、六人の駅長さんが交替されたが、詩の壁は今も受け継がれているという。

霧がうつすらとかがると朱の美しい宮居の森で野鳩の鳴く声が

と云うような素朴な作品である。これらの詩を電車待つ間に読んで微笑んでいる人、ノートに書き写している人の姿を見かけることがある。

この話は、ずいぶん前にある新聞にのっていたが、この駅を訪れる人々の間に暖かい心のふれ合いが感じられる。

駅のホームに咲いた草花、街角になにげなく置かれた一鉢の花、道路のわきに作られた小さな花だん、こんな心づかいが人々の心をいかに和ませられることか。

緑と彫刻のある町、津奈木にも時々見かける風景である。スポーツの盛んな活気のある町、すみずみまで町民の豊かな心が感じられる文化のかおり高い町がこんなところから生まれ、育っていくのはあるまいか。

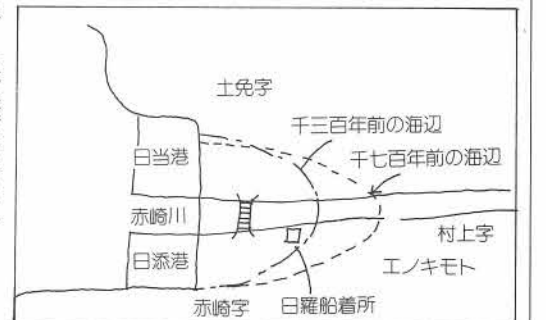
町民体育祭 日程表

町民体育祭8種目の日程が、津奈木町体育協会評議員会において下記表のとおり決定しました。
町民皆スポーツ運動にご参加下さい。

大会名	期 日	会 場
男子ソフトボール大会	5月14日 (日)	総合グラウンド
女子バレーボール大会		B&G体育館
ゲートボール大会	5月30日 (水)	総合グラウンド
卓 球 大 会	6月25日 (日)	B&G体育館
水 泳 大 会	7月28日 (金)	B&Gプール
野 球 大 会	8月13日 (日)	総合グラウンド
競 舟 大 会	8月15日 (水)	
陸上競技大会	10月10日 (水)	総合グラウンド

新体育部長

平国上 福川内 上下門 倉谷 古中尾 中尾 大泊 古川 新川 町中 桜戸 浜崎 染竹 竹中 廣田 恒夫 鶴野 昭夫 溝部 安親 山本 隆義 山口 義等 山添 隆蔵 川添 隆蔵 新立 捨喜 溝口 浩平 沢井 徹也 森下 博明 椎葉 正二 坂口 成己 西平 久二 犬東 保一 野崎 憲章



芦北の浦々には、景行天皇に纏わる地名伝説が数多くありますが、津奈木町にもその幾つかがあります。

古老達の口伝によれば、大和朝廷による熊襲討伐下行の折り津奈木の浦に船をつながれたので、現在の津奈木の地名になったとか、大泊には船を泊められたので京泊し、しばらく休憩されたので、大泊、仮泊などと、浦々を見開かれたようである。赤崎は余り景行天皇に關しての話はないように思われますが、部落の老人達の話によれば、今の赤崎は、赤崎の里と言ったと。

地名に刻まれた歴史② 景行天皇と赤崎

佐々木 緑

「この里は何んという里か」と、お聞きになったそうです。当時小さな名もない村を案内人は、「赤崎の里にございます」と申し上げたという。

景行天皇が赤崎の浦に入られた時、空は真紅に焼け、榎の梢にと

川このらの川尻が景行天皇より数百年後、日羅公が船着けされた場所、浜こら(ハマンコラ)とも言います。

この話は定かではありませんが、現平国は山の比良(斜面)が広いので、「この里はヒラの国」だと説明したので平国村になったといわれています。

芦北の海岸には驚の浦という地名も現存し、当時の海辺に驚が繁殖していたとすれば、赤崎が赤崎に変わってもおかしくないと思います。

申し添えれば平国の津々良(ツツラ)に白鷺が数十羽生息し美しく其の観は昔をしのばせます。

平国下 村 上 守
日 添 松 田 芳 守
日 添 上 村 幸 一
小津奈木 坂口 義

津奈木体協ゴルフコンペ

優勝 中村仁さん

第八回津奈木体協主催のゴルフ大会が、三月二十六日水俣国際カントリー倶楽部で開催。

会員五十一名のうち参加者は十一名。雨もよりの天気ながら、熱気にあふれた好プレーが続出。10アングラーの好成績の中村さんが優勝。(新ハナデイ15)二位は4アングラーの山下吉親さん。

野崎会長の始球式



新刊紹介

ふたり(赤川 次郎) 砂嵐(西村 望) 女人源氏物語1,2(瀬戸内 麻理) 十和田南へ殺意(西村 京太郎) 十津川警部の排戦上下(西村 京太郎) ダンス・ダンス上下(村上 春樹) 東京新大橋雨中国(杉本 章子) 由照(李 良枝) タイヤモンドダスト(南木 佳士) 熟れてゆく夏(藤堂 志津子) 初めての父親(読本 斎藤 茂太) なぜかたけしの兄です(北野 大) わたしの自然日記(CW・ニコル) 色の手帖、配色事典、密教(日本仏教) マグロは時速百六〇キロ

編集室から

春は人の動きが最も激しい季節です。幼稚園にはいる。小学、中学、高校、大学にあがる。先生が移動する。いずれも環境が大きくかわり、成長のためには苦しみも味わうことになる。今号は町内の学校の動きを特集しました。

▼前号の「地名に刻まれた歴史」が好評でこれから引続き、津奈木地名研究会の手で掘りおこしてもらいます。ご期待下さい。

▼まもなく「郷土史料文化館」が開館されます。有志から提供された資料には、忘れられてしまいうな歴史のシワが刻まれています。編集室は腕を撫して、その開館を待っております。

また資料提供のお願い

前月号でお願いしたところ、多数の情報を教えていただきました。紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

今月号では次の項目についてご連絡を待っております。

写真 古い写真ならなんでも。江戸末期頃からの銀板(硝子板に焼付けたもの)だけでも貴重品です。津奈木の風景、風俗の移りかわりがわかるもの。例えば、国道や鉄道が建設された頃のスナップなど大歓迎です。

(中村 幸昭) 望郷(三留理男) ビジネスマン父より娘へ(キングス・レイ) 包み方全書(武内 元代編) (購入書籍の一部)

僕達新入生七十五名は、今日の良き日に、この伝統ある津奈木中学校に入學します。

僕達は町内三つの小学校から入學してきました。初めて出会う人もいますが、早くお互いの名前と顔を一致させ、皆さんで仲良く協力しあっている友達を沢山作りたいと思います。

中学校では小学校でなかった英語や保健などの教科もあり、内容も小学校よりむずかしくなります。



新入生代表
岩崎幸平

誓いの言葉

ので、予習復習をしっかりやり、不明な点は質問をして解決していきたいと思っています。

部活動もいろいろあって、積極的に部活動に入り、体力及び精神力をつけて逞しくなりたいと思います。

生活面では人に迷惑をかけないよう、集団のルールを守り、誰もが楽しく明るい笑顔に満ちた学校になるよう努力したい。そして津奈木中学校に受け継がれてきた良い伝統をさらに充実させ、堂々と胸をはれるような生徒になることを誓います。



津奈木中学校

この度の異動により、本校に始めて参りましたが、地元でもあり前々から親しみを感じておりました。この津奈木は伝統もあり文教の地として、歴代の校長先生始め諸先生方が営々と立てた基礎を作られて参りました。今後は、改めて身の引き締まる思いが致しております。生徒諸君も、学校の伝統を守り、

より更に発展させるため生徒会活動が活発なようです。あいさつ運動、清掃による勤労意欲の充実などがなされているようです。良い学校とは、やる気のある先生と、やる気のある生徒が共に授業を通して教師、生徒の体あ

環境を切実な願いとして、生徒の自己実現をめざして、全職員一丸となって頑張りたいと思います。

どうぞ保護者の皆様及び、地域の方々の御支援御鞭撻をお願い申し上げます。

四月十五・十六日の二日間、春の文化祭として定着した「エビネ」展が中央公民館で開催され、二九名一〇七鉢が出品された。

愛好会が丹精して育てたエビネは、選抜された登録品、未登録品にわけられ、会場ホールは観客と春のかおりにみちみちた。

同期中に、三号線を通過中に看板を見た福岡、北九州、宮崎、鹿児島など県外ナンバーのドライバークラッシュの鑑賞のため立ち寄り、会場の隅に設けられた即売品はすべて売り切れる程好評を得た。

入賞者
未登録品 金賞 篠原純一 村上忠雄 久村末喜 寺岡栄助
銀賞 坂本光弘 山本登原

春の文化祭 エビネ展 花のかがりがいっぱい



エビネの育て方

植替え時期 花が終った直後か九月下旬〜十月上旬小、中木は三〜四月がよく、花が咲くまで植替えないで下さい。

株分けは五月下旬〜六月中旬。新子は根が下りてから。直射日光を避け、風通しのよい木陰か、寒冷など日覆いすれば、露地に植えても、毎年花が咲きます。

登録品 金賞 「鳳凰」山口敦 「令人」山本正

銀賞 「昇炎」篠原純一 「夕カネ」福田辰義



山下文化協会理事長のあいさつ

野勝義 長原津 吉 諫山保澄 山内国美 山本茂 銅賞 山本重人 松田道明 鶴野富人 永里安隆 松永和美 古杉一郁 大淵 勁保 山川 清 林 明蔵 中村 殷重 船場奎吾 堀クニ子 丸山 勇



津奈木小学校

前列右より
水本 幸之先生 六年二組
鶴野 慶昭先生 校長
吉田 耕一先生 教頭
農頭 昭勝先生 事務
村本 健二先生 教務
二列目右より
江口ヒロ子先生 一年一組
一川 清美先生 一年二組
菅原 節子先生 すみれ
森 道子先生 栄養士
田原 正和先生 二年一組

後列右より
三浦 浩先生 五年二組
平江留美子先生 三年一組
村上 昭子先生 事務
吉川 成美先生 三年二組
早川美津恵先生 養護
寺本 寿子先生 四年一組
田副 稔先生 六年一組
多田隈幸代先生 四年一組
寺川 芳夫先生 五年組
中田 慎哉先生 四年二組

赤崎小学校



前列右より
村崎 文子先生 一年
松崎佐和子先生 二年
上村 秀樹先生 三年
平田 栄二先生 四年
高鷹 昭治先生 五年
四宮 宣二先生 六年

後列右より
田中 文子先生 養護
辻 道 さん 事務
山下 益生先生 校長
遠山 隆 先生 教頭
寒川 正典先生 教務

小学校の先生がた

四月から水俣の石坂川小学校から赤崎小学校にお移りになる山下です。見渡す限り周囲は山と緑の学校から一変して見渡す限り青い海の上に立つ赤崎小へと、本当に私は幸せだと喜びに満ちた毎日です。私の兄も以前赤崎小に勤めていましたので兄弟で勤めさせていたが緑に感謝の外ありません。私は子供の頃から海が好きだったので、春、夏の休みには赤崎小の旧校舎や住宅に泊りながら自然の海を満喫したもので、ここに勤められたらなあ〜とあこがれていた学校に連れて夢のようです。

子供の頃、可愛がって下さった佐々木という方(十九歳で南洋上で戦死)の墓詣りもしたいと考えています。心温まる文化財もたくさんある赤崎では、その心を見直し、教育に生かす供に伝えるように努力したいものです。学校と校区が一体となって子供の学力、体力そして心の教育につくしたいと考えます。



平国小学校

前列右より
上村 郁子先生 事務
山下 幸子先生 三年
後藤 善治先生 校長
宮川 寿男先生 教頭
宇田美佐子先生 二年
橋口 敬介先生 一年

後列右より
松原 正博先生 四年
山本 哲朗先生 教務
徳富久美子先生 養護
野崎由美子先生 事務
新立利恵子先生 五年
橋本 慎也先生 六年



平国小学校
後藤善治校長

知らずに支配され育つうちに独特の人間性を備えていきます。このことから、学校の施設設備も大事な環境の一つでありますが、私は何よりも教師こそが、かけがえのない環境であると思っています。そこで、教師と教師、教師と親、教師と子どもの「愛情と信頼」のな

「愛情と信頼」のな

いところに教育は存在しないことを、自覚し、職員と一丸となって、教育環境づくりに励んでいく覚悟です。

町当局や教育関係者の方々に始め、町民の方々の御支援と御鞭撻をよろしくお願い致します。

教育環境づくり をめざして

津奈木町の教育環境づくりをめぐって、人間性豊かな児童生徒の育成を目指した学校経営をおこなっていきたくて意気込んでいます。

「環境は人を育てる」の格言のとおり、子ども達は環境に知らず

地域をおこす人々 (3)

高級果物メロンに挑む

中村 諭(67才)さん



二番果の手入れに忙しい中村さん

お諏訪さんの前あたり一帯は、字名も「田中」といい、土地改良された広い美田が連なっている。米作のあと、休ませる田圃の一角にビニールハウスが建ち並び「田中」は津奈木農業先進地帯の

緑濃い葉蔭から白い顔をのぞかせている。奥さんのキミ子さん(61才)は余分につけた花を摘み取るのに手の休まるひまがなかった。

メロンは一本の幹から三本仕立て、夫々の枝に一番果、二番果、三番果まで計三箇を結実させる。余分な花や枝は、果実の生育に悪影響を及ぼす。絶え間なく伸び続けるから、毎日欠かさず見守る必要があるのだ。

「一月中旬、育苗床に植付けた頃が一番神経を使います。夫婦で交替で撤水したり、重油を焚いて温度を下げんことしと」厳冬の一月、室内を27〜30度のまにしておくためには一瞬の油断も許されぬ。今こそ温度管理を自動式にしているが、一人でつきっきりで温度計とにらめっこしているのは辛いことである。

こうして手塩にかけられた苗は二月中旬すぎ、地温15度に温められたハウスに移植される。植付けしてから三ヶ月たつと一番果の収穫期を迎える。一番果は肉質が厚く種の部分が小さい。二番果以降になると大きい割に肉質がうすくなってくる。

熟した時期を見きわめるのがまた難かしい。なり紐のところに

色い輪ができ、お尻の部分が水晶のように透きとおってくるのだが素人のあいだは、割ってみないとわからぬほど、その変化は微妙である。

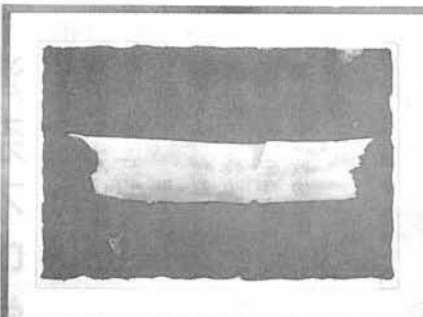
糖度が15〜16度まで甘くなった一番果は、津奈木では最も早い四月二十日前後にちぎられ、経済連を通じて関東、関西に送られる。メロンは付加価値の高い果物で

沖田、小津奈木、内野、倉谷で栽培されている。中村さんはメロン部副部長として、組合員の指導に当りながら糖度の向上や連作障害の防禦にと積極的に関わり組んでおられる。

リトグラフ

一九八二

坂本 善三



「形」という名前を与えられたこの作品をどう観ていこう、白い形、暗く広がるその背後、形の存在が空間を拡げていく。坂本善三の黒は、東洋の黒である。悪魔的な恐ろしい暗闇ではなく、そこには、竹林に見るような、落ちついたしつとりとした闇がある。

庁舎美術館 (24) 無の空間が、見るものの心をなごませてくれる。(T)

読書感想文 ふしぎなサンダル

津奈木小学校6年 田上 真貴子

この話は、ペルーが、インカ王国の時代だったところのお話です。ウアラナは、ウイラコチャ王の下で飛脚として働いていました。飛脚のウアラナは、とてもやさしくお人よしです。仕事でも、苦しんでいる人や困っている人がいたら、自分がいたら、自分

が、飛脚という事も忘れて、親切に面どうを見てあげます。ウアラナは、このことで、王様の信頼を失い、追放されました。私は、ここまで読んで、ウアラナは、バカじゃないかと思いましたが、なぜなら、人と自分を比べたら、他人のことより、自分の方が、大事だからです。自分のためにならないと思うからです。

行動には、うつせません。私は、ウアラナが、ちよつとかわいそで、でもこの人が、うらやましくなりました。こんな、心の持ち主になれたら。最後に、ウアラナは、どこにでも、速く行けるふしぎなサンダルを、神様にもらいました。このことは、おとぎ話みたいだけれど、ウアラナみたいな心の持ち主になりたいと、この本は、教えているのだと思いました。

奉納ゲートボール大会 福浦チーム連続優勝



さあ!!われわれの番だ

四月十五日、第十三回大明神社奉納ゲートボール大会が神社前のコートで行われた。前夜来の悪天候のため、参加者の出足が鈍く、一時間余りおくれで開会となった。試合に先立ち全員大明神社に必勝祈願のあと参加二十三チーム、二コートに分かれ熱戦の火蓋を切った。コートはたちまち「一番、第一ゲート通過」主審の大きな声、日頃きたえたあざやかなスティックさばき、ボールをスパークする音、好プレーや珍プレーにあがる歓声につつまれた。

コート別に各チーム二試合行い勝数、勝点により上位二チームづつ残り、準決勝、決勝へと進んだ。さすがに上位チームだけあって好プレー続出、手に汗にぎる好試合が展開された。その結果、福浦チームが二年連続優勝の輝かしい偉業をなしげた。二位は浜Bチーム、三位は平国Aチーム、四位は下門Bチームの順であった。試合終了後、優勝旗の授与などあり、熱戦のせいか雨もふきとばされ、五時頃無事終了。一般の方の応援が加わればもっとよい大会になったと思う。

町指定の巨木

将軍神祠のヤマモモ

名所、旧跡、神社仏閣等をまわりますと、其の多くが名木、古木が見受けられ、尊厳を備えております。



津奈木町でも諏訪神社の大楠、菅原神祠の榊(ナギ)などあります。赤崎には将軍神祠のヤマモモがあります。昭和五十七年二月二十日、津奈木町文化財天然記念物として登録され、樹齢二百三十年をへて、主幹胸高、まわり約三米余あり、幾多の風雨、人害の樹傷に根株は数多くのコブを作り、樹齢の古さと、強靱な生命力を語り

川郡)で百済人徳爾、余奴達により暗殺されました。現大阪市北区同心町二丁目二十番地に仮葬されましたが、將軍の子六目公が、將軍の遺骨を芦北の地に埋葬されるため、船着けされたのが赤崎の草母田(干潟)で、それより二百余年後、宝暦七年里人の夢枕により、当時六十八(ジフテリア)に靈験が戸の村人達が氏あり幾多の人々が助かったかにはかり知れない。神として現神祠敷地に祠を建立されたという。ヤマモモは境内に文化財天然記念物としてふさわしい名木に息災を祈願してあたいする樹木である。

私たちの文化財 3

短歌

宮崎 優選

梅愛でむ友と巡りし城跡に花しづもりて清らかに咲く
エンジンの音するたびに目覚めた
遠くに働く子の帰りの待つ
留守の間を仏間に活けし菊の花心置きなく大阪にたつ
待ちわびし甥の祝儀の務め了え夫の安らぐ寝息聞きける
福田 八重子
年ごとの春の祭りに独活採りて届け給いし父は老います
農業を我にゆだねて施術士となりたる吾子の車見送る
寺本 ツルヲ
幼な孫が賀状をくれたり鉛筆で葉書一杯におめでとおと書き
とはと歩ける老のかたわらを風きり音たて大型車往く
柳迫 いづも
肉親の心に触れし一杯の白酒ほろ酔う水仙香おる
身は萎えて足にて文字書く人を見ぬ我はまだ良し箸が使える
小嶋 正弘
山桜散る花びらと綿雪と狂乱の舞い北風来る
親しかりし人多く近きぬ雲たるる葬列に入る同郷の友よ
宮崎 優
燃えさかる炎に思うけが人とうつり火なきを只祈るのみ
悪しき夢振り返るまじ今日よりは心豊かに共にすごさん
堀 双岳 選
順なし
ホヤホヤ、餅食うとなら今んうち届かん、ホームランにならだつた
ホヤホヤ、馴れん手付の新家庭届かん、背丈がちつとほしかった
ホヤホヤ、見ておれんごつ仲のよ届かん、やっぱ高嶺の花だったか
ホヤホヤ、尻打つ柳も今はなし届かん、行方不明の集金日
次笠
又おいで・押しつめて・一笠二句五月末迄。倉谷堀双岳宛

西南戦争 (12)

さきに(昭和62年2月1日発行の公民館報)別府晋介の率いる薩軍の先鋒二個大隊が、二月二十日川尻到着、二十一日未明、鎮台側の偵察隊と川尻に宿営中の別府軍とのあいだに、小ぜりあいがあった。この鎮台側の出方に、薩軍側は「鎮台は本気で戦をする気だ」という印象を強くした。ということを書いた。

話は前後するが、この別府軍が二月十九日小川に大休止していたとき、学校党(熊本隊)の領袖池部吉十郎が別府晋介に会いにいつている。池部は熊本を出る前に、同志の佐々友房に、「薩軍の先鋒別府軍が、すでに小川町に到着して

「学校党」領袖 池部吉十郎

岡本 秋徳

の決意を示しているようだ。谷干城は名将であり、樺山以下各参謀はよく谷を補佐して、士官、兵卒の行動も沈静で平常と少しもかわらない。今朝の火災(天守閣の火災)にも、兵卒の狼狽している様子も見受けられない。こうした城

内での決意を示しているようだ。谷干城は名将であり、樺山以下各参謀はよく谷を補佐して、士官、兵卒の行動も沈静で平常と少しもかわらない。今朝の火災(天守閣の火災)にも、兵卒の狼狽している様子も見受けられない。こうした城